



製造現場における搬送自動化をテーマに、自律移動ロボット（AMR）の基本的な仕組みや導入検討時のポイントについて解説します。講師には、搬送ロボットの設計・開発を担当し、現地導入や要件定義にも関わっている株式会社Keigan 専務取締役 栗本氏をお招きします。講演後は、自動搬送ロボットを用いた走行用マップの作成や環境設定、走行操作を体験いただけます。

**日時** 2026年3月5日（木） 13:30～15:20

13:15～受付開始

13:30～14:30 講演＆質疑応答

14:30～15:20 ロボット操作体験（2～3名）

※当日ご体験いただけない方には、後日体験の場を設定

**講師** 株式会社Keigan  
専務取締役 栗本直彰 氏

**会場** アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都  
京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田30番地1

**定員** 会場参加20名／オンライン参加30名程度

**対象** ATVKロボティクス部会メンバー、  
製造業、半導体関連企業、  
ロボット製造メーカー、  
システムインテグレーター等



お申し込みは  
こちらから



（読み取りorクリック）  
締切 2.26(木)

主催：（公財）京都産業21（ATVKロボティクス部会）  
共催：AI時代に向けた京都ものづくり産業の成長戦略実行委員会

## 講演概要

人手不足や生産性向上への対応として、製造現場における搬送自動化への関心が高まっています。本セミナーでは、自律移動ロボット（AMR）を活用した搬送自動化について、導入を検討する際に押さえておきたい基本的な考え方や、現場での活用イメージを中心に解説します。

実際の導入事例や運用上のポイントを交えながら、AMRがどのような場面で効果を発揮するのか、また導入時に注意すべき点について整理します。あわせて、実機による走行デモや操作体験を通じて、AMRの動きや使い勝手を体感していただくことを目的としています。

## 講師經歷

株式会社Keigan 専務取締役。

奈良工業高等専門学校専攻科機械制御工学専攻修了。専門は機械設計。

電機メーカーにて機構設計・量産開発に従事後、Keigan創業に参画。

現在は搬送ロボット・AMRの機械設計を軸に、現地導入支援や要件定義にも携わっている。

# ロボティクス部会概要

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都(ATVK)で立ち上げた「ロボティクス部会」では、ロボット関連のテーマに関心のある府内外の企業や大学、研究機関等が参画しています。今回は「省人化・生産性向上ロボット」に焦点を当て、企画しました。このような活動を通じ、部会がさまざまな社会課題解決のためのヒントが得られる場にしていきたいと考えています。

また、共催の「AI時代に向けた京都ものづくり産業の成長戦略実行委員会」は京都府・京都市協調で半導体産業をはじめ、京都ものづくり産業の成長・発展を目的に産学官の連携強化のもと、取り組んでおり、ロボットを含めたフィジカルAIの分野などにおいて、今後も、連携を取りながら定期的にセミナーなどを開催していきたいと考えています。

# アクセス

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（通称：ATVK）

京都府乙訓郡大山崎町字大山崎

小字鏡田30番地1

- お車の場合：  
名神高速道路 大山崎料金所から  
約3分  
(国道171号線沿い 大阪方面)
- 公共交通機関の場合：  
JR山崎駅・阪急大山崎駅から  
徒歩約20分



**お問い合わせ**

ATVK事務局（公益財団法人 京都産業 21）  
075-925-8821（直通） <https://atvk.kyoto>

